

平成 23 年度 第 8 回

広島大学理学研究科 数学教室談話会

平成 23 年 11 月 15 日 (火) 午後 1 時
広島大学理学部 B 棟 7 階 B707 教室

加茂 憲一 氏 (札幌医科大学)

ポアソン回帰モデルを用いた癌リスクの視覚化

癌は重篤性が高い上に社会的な経済損失も多大な疾病であり、国レベルでの対策が急務とされている。癌は様々な要因が複雑に絡み合って発症すると考えられているが、本研究では特に時間に依存する癌リスクの性質に着目し、それを視覚的に表現する手法について紹介する。具体的には、癌リスクが、年齢と出生年により説明されるというポアソン回帰モデルを用いて理論を展開する。結果の出力としては、年齢と出生年を座標とする平面上に、リスクの高低を曲面として表現する。視覚化は人間にとってデータを直感的に捉えられる効果的な手法であり、特に解析の初期段階において重要な役割を果たすことが期待される。このような手法により明らかになった特性は、2 次的な解析に適用することが可能となる。その一例として、将来予測を行った結果についても紹介する予定である。

同日午後 2 時より理学部 B 棟 7 階小会議室 (B708) において講演者を囲んでのお茶会を開きます。お気軽にご参加ください。

問合せ先:

広島大学理学研究科数学教室談話会係

〒 739-8526 東広島市鏡山 1-3-1

電話: 082-424-7341 (井上昭彦)

email: inoue100@hiroshima-u.ac.jp

最新の教室情報はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

本セミナーは、5 研究科共同セミナーを兼ねています。